

事例6

企業向け健康経営実践プログラム

エリア（静岡県藤枝市）



事例選定のポイント

小規模事業場へのアプローチルートを確保

商工会議所、商工会などと連携して中小規模事業場の健康経営の普及を推進している。

目標値が設定されて効果を確認できる

健康経営実践プログラムでは効果検証として評価指標を設定している。プログラム実施後には数値面で成果が見られている。

健康増進に向けたアプローチルートが拡大

静岡県のモデル事業や、先進事例を参考にして、藤枝市独自の具体的なアプローチルートを展開している。

基本情報

実施主体者	藤枝市	対象者	働く世代
関係機関	藤枝商工会議所、岡部町商工会、 全国健康保険協会（以下、協会けんぽ）静岡支部、志太医師会	実施期間	平成30年度～

健康課題

- ・ 藤枝市では協会けんぽと国民健康保険双方のデータから健康課題を精緻に分析。従来から「健康・予防日本一」のまちを掲げ、運動や食事の切り口の中で、一般市民に向けて啓発を積極的に行っている。
- ・ 働く世代の30～50代は、健康に対する関心が薄いと言われる世代であり、藤枝市においても運動や食事といった健康への取組について二の次になりやすい。

事業目的

- ・ 市民の健康寿命の更なる延伸を図るため、経営者に「健康経営」の取組効果を明確に示す。
- ・ 事業者の主体的な健康づくり活動に繋げるため、経営者及びその従業員向けに「企業向けの健康経営実践プログラム」（以下、健康経営実践プログラム）を提供する。
- ・ 健康経営実践プログラムでは、実践事業者従業員の健康を増進し、これに伴う事業場の価値向上、生産性向上を支援する。加えて、健康経営実践による健康効果と生産性向上のエビデンスを得る。

事業実施の経緯

市における健康づくりを検討	平成24年頃より静岡県の健康づくりに関するガイドブック（「ふじ33プログラム」など）事業者実践活動を受け、藤枝市独自でも具体的なアプローチができないか検討。
包括連携協定の締結	藤枝市、藤枝商工会議所、岡部町商工会、協会けんぽ静岡支部で「健康・予防日本一」を目指して平成30年10月に包括連携協定を締結。業務委託形式で志太医師会も参画。包括連携協定の中で「健康経営の普及に関する促進」事項を決定。
協定内の事項を実施	「健康経営の普及に関する促進」事項の柱として健康経営実践プログラムを設定。庁内会議にて実行の意思決定を行った。

取組内容

藤枝市では、健康経営実践プログラムを通じて事業場の健康経営を推進している。

■ 健康経営実践プログラムの概要

平成30年度より毎年度、市内事業場2社(社員20人程度)を対象に6ヶ月間の健康プログラムを提供。対象事業場は、藤枝商工会議所や岡部町商工会の会員などから、健康経営に関心の高い事業場を選定している。3カ年事業として取り組み、健康的な生活習慣の定着を支援。健康経営実践プログラム予算は全額市の一般財源を活用している。

■ 健康経営実践プログラムの内容

健康経営実践プログラムは、毎月1回、委託先の志太医師会が選出した専門家が事業場に出向き、「運動」「食事」「休養(睡眠)」「歯や口の健康」分野の健康出前講座を開催。加えて**活動量計の貸与により身体活動量を可視化**し、健康意識を向上。プログラムに取り組んだ事業場を掲載した「健康経営ガイドブック」を毎年3,500部作成。健康経営の普及、啓発にも取り組む。



取組の成果・効果

「体組成測定」「体力テスト」「血液検査」の各数値で設定した評価項目は、「体組成測定」「血液検査」の項目で数値の改善を認めた。



取組の成果・効果につながった要因や工夫した点

- ☑ 藤枝市からの1回の訪問説明では中小規模事業場に健康経営実践プログラムの趣旨を理解してもらいにくいため、ガイドブックやチラシなどで啓発を強化して、健康経営の重要性を認識してもらう。
- ☑ 健康経営の取組を始めるきっかけづくりとして**事業場が抱えている健康課題や要望に対応する専門家を派遣して健康づくりに関する出前講座を実施**。講師の派遣料は全て市費でまかない、事業

場は日程と会場を調整する。

- ☑ 中小規模事業場へのアプローチを考慮して、藤枝商工会議所、岡部町商工会との連携を調整。健康経営実践プログラムの対象となる中小規模事業場と関係性が強い商工会議所や、商工会との協働で円滑な健康経営の普及啓発が可能となっている。

課題と今後の方向性

- 健康経営実践プログラムの認知度向上を目指している。市のホームページの活用や、藤枝商工会議所が発行している情報誌からのPR、藤枝商工会議所主催の中小規模事業場を対象とした健康経営・相談会の会場に赴き、参加者への周知、啓発にも取り組んでいる。
- 経済産業省が実施している「健康経営優良法人認定」を取得してもらうよう啓発し、市内中小規模事業場の健康経営の推進していく。
- 平成30年から本事業に取組、形式化している部分がある。新たに魅力的事業となるように検討が必要。

Good Point

本事例の評価ポイント

藤枝市は行政視点であることにに対し、藤枝商工会議所、岡部町商工会、協会けんぽ静岡支部の各連携機関では民間視点である点で、意識のすり合わせが当初必要であった。しかし、商工会議所・商工会が持つ中小規模事業場とのコネクションや市による様々な専門家派遣等「各機関や部門のストロングポイントを十分に活かした連携」に焦点を当てることで、目線合わせを実現し、事業展開へと結びつけることができています。